

仙台市天文台 中期計画（2026－2028 年度）の概要

2026/2/25

株式会社仙台天文サービス

1) 中期計画の位置づけ

本計画は、下記の仙台市天文台のミッションを達成するための3年間の実行計画です。ロジックモデル（目指す社会の姿から考え、活動と成果のつながりを整理する枠組み）によってゴールまでの道筋を可視化し、継続的な改善を図ることで、ミッションの達成を目指します。

ミッション（使命）		
マインド・アイデンティティ （施設理念）	ビヘイビア・アイデンティティ （施設活動）	ビジュアル・アイデンティティ （施設表現）
「宇宙を身近に」します。 ～質の高い天文情報を、身の回りのものごとと関連づけて示し、生きた対話を生み出す～	（天文観測） 市民の「宇宙を観る眼」となる （調査研究） 市民にとっての「宇宙の魅力」を引き出す （教育普及） 市民を「宇宙の世界」へと誘う	

2) 最終アウトカム（ゴール）

3年後に実現したい社会の姿を、「市民が、宇宙を特別なものではなく、身の周りの自然の一つとして捉え、愉しんでいる状態」と設定しました。これは、ミッションの具体的な到達像を示すものであり、本計画における最終アウトカム（ゴール）です。

3) 評価と改善の方法

本計画は、ロジックモデルに基づき、次のサイクルで実行します。

- ①計画（Plan） ロジックモデルの作成・評価指標の検討
- ②実行（Do） 具体的活動の実施およびデータ収集
- ③効果の把握（Assess） データの検証と分析
- ④報告・活用（Report&Utilze） 分析結果の報告および事業改善に反映

成果を段階的に確認しながら、必要に応じてロジックモデルを見直し、継続的な運用改善を行います。

以上